

授業科目 の区分	専門科目	授業科目 欧 文	インターンシップ Internship		講義 番号	C 3 2 3
担当教官名	対象年次	開 講 期	授業時数	選択・必修の別	単位数	
吉田弘、田坂茂、 溝口健作	3	前期	1 5	選 択	1	
曜日、時限						
概略	生産現場での技術の重要性について認識を深め、また物質工学の授業内容理解を促進するため、工場において実習指導を受ける。					
一般目標	物質工学の生産現場で果たす役割を理解し、技術者としての心構えを自覚することを目標とする。					
個別目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1．実習対象となる工場での製造工程を把握する。</li> <li>2．個々の工程での物質工学の果たす役割を理解する。</li> <li>3．企業における技術者の役割を理解する。</li> </ol>					
受講要件	生産現場で技術の果たす役割を理解しようとする熱意が必要である。また生産現場の秩序を乱してはならない。					
履修上の注意	実習指導者の注意・指導に厳密に従うこと。					
授 業 内 容	1	授業内容は実習現場ごとに異なる。				
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	1 0					

	1 1		
	1 2		
	1 3		
	1 4		
	1 5		
成績評価	実習終了後に報告書の提出を求め、その内容によって評価する。		
関連科目			
JABEE との関連	共通基準の「基準 1(1)(d)該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力」に対応する。		
アンケート			
教材			
相談時間			
連絡先	吉田弘（電話 1142, メール <a href="mailto:tchyosh@ipc.shizuoka.ac.jp">tchyosh@ipc.shizuoka.ac.jp</a> ） 田坂茂（電話 1163, メール <a href="mailto:tcegam@ipc.shizuoka.ac.jp">tcegam@ipc.shizuoka.ac.jp</a> ） 溝口健作（電話 1192, メール <a href="mailto:tckmizo@ipc.shizuoka.ac.jp">tckmizo@ipc.shizuoka.ac.jp</a> ）		
備考			